



第170号

2025年9月27日

北海道旭川聾学校寄宿舎 発行

巻 頭 言

教頭 田 中 康 崇

7月16日(木)「第54回仲良し発表会」でした。もちろん参観させていただき、5名の寄宿舎生の「外出」「電線」「ピアノ」「スポーツ」「スマホ」のそれぞれの視点で、思い思いの主張を聞くことができました。非常に興味深い発表で子どもたちの感性を見られる機会となりました。

さて、発表会と言えば…発表することがクローズアップされがちですが、実は…です。

開始時間が近づき寄宿舎へ向かうと発表するはずの寄宿舎生が、業務を分担し受付や誘導をして参観者を招いていました。発表前の時間は、緊張してそれどころではないはずにもかかわらず、笑顔を絶やさず明るく参観者の皆さんを招き入れていました。普段かかわる機会のない、町内会の方がいらしゃっても臆することなく立派に対応している姿は「頼もしさ」を感じました。会場に多くの方が集まり、その時間が迫ってくると徐々に空気が変わっていくのが分かりました。始まる直前にはピーンと緊張の糸が会場に張り巡らされ、参観する私も少々緊張する雰囲気がありました。

もちろん司会進行も寄宿舎生、先生方が少々糸を引く場面がありましたが、基本的には寄宿舎生で会が進められました。(発表の様子は、配信のとおりです。)全ての発表を終え、会が終了すると緊張の糸が切れたのでしょうか。さっきまであったピリリとした空気が嘘のように緩

むのを感じました。

子どもたちは、この発表会に向けて発表原稿を作り練習するだけでなく、会の運営にも参加し考えや想いを伝えるための取組を行いました。ことばを紡ぎ原稿を仕上げることだけがコミュニケーションではありません。伝えようとするときに必要な環境を作ることもコミュニケーションの大切なことです。この仲良し発表会で取り組んだ全てのいろいろな糸を紡ぎ、考えや想いを伝えるコミュニケーションの尊さを寄宿舎の生活で子どもたちが培っているのだと改めて感じる機会となりました。



仲良し発表会

7月16日(木)に仲良し発表会がありました。各々、最近気になることや興味のあることをテーマに選定し、発表資料作りと発表練習に励む姿が見られました。本番では、昨年度よりも発表内容も発表方法や態度も一段階レベルアップした様子が見られ、成長を感じられる発表会となりました。

また本番当日にお手伝いに当たってくださった大学生ボランティア、発表を聞きに足を運んでくださった町内会の皆様、お越しいただき感謝申し上げます。舎生にとって相手に伝わりやすい発表方法を学ぶ、有意義な時間となりました。

(文責：松井)



係活動について

寄宿舍では「主体性」、「協調性」、「伝え合い」という点に重きを置き、「自分の考えを伝えること」「相手の意見を聞くこと」ができるよう、係活動の中で活発に意見交換が行われるよう状況に合わせたサポートをしています。

今年度の係活動は舎生 1 人 1 人が考えた活動を行うことになりました。「遊びの係」「掃除係」「おすすめ係」「ニュース係」「カーテン係」の 5 つの係が子どもたちから提案されました。

5 人で話し合い、最初の活動は A さんの考えた「遊びの係」に決まり、内容は「フルーツバスケット」と「だるまさんがころんだ」の 2 つになりました。9 月 3 日（水）に食堂で 2 つの遊びを楽しみました。「フルーツバスケット」は「髪の毛が短い人」「めがねをかけた人」「ハンカチを持っている人」など鬼の出すお題に合わせて座っているいすから立ち上がり、席取りをして楽しみました。また、「だるまさんがころんだ」は鬼が後ろを向いて「だるまさんがころんだ」と言う間にそーっと近づいて、笑顔で鬼にタッチをして楽しんでいました。

（文責：北島）



後期の行事予定

10 月 7 日（火）	地域清掃活動
10 月 29 日（水）	ハロウィンパーティ
11 月 1 日（土）	文化祭
12 月 17 日（水）	クリスマス会
12 月 25 日（木）	第 2 学期終業式
1 月 19 日（月）	第 3 学期始業式
1 月 28 日（水）	1 月誕生会
2 月 3 日（火）	豆まき会
3 月 16 日（月）	お別れ会
3 月 18 日（水）	卒業式
3 月 24 日（火）	修了式・離任式

